

発 監 第 2 号

平成 22 年 1 月 15 日

北 栄 町 長 様
北栄町議会議長 様
北栄町教育委員会教育長 様
北栄町農業委員会会長 様

北栄町代表監査委員 前田 茂樹

北 栄 町 監 査 委 員 前田 栄治

平成 21 年度第 2 回定期監査の結果について（報告）

地方自治法第 199 条第 4 項の規定により実施した定期監査の結果を、同条第 9 項の規定により報告します。

記

1 監査期間 平成 21 年 11 月 19 日（木）、20 日（金）、24 日（火）

2 監査対象 全 課

3 監査概要

（1）平成 20 年度補助金状況について

各課から状況調書、事業実績報告書等の写しを提出させ、担当課長等から聴取。

（2）平成 21 年度工事実施状況について

各課から状況調書、開札筆記等の写しを提出させ、担当課長等から聴取。

4 監査意見

(1) 工事請負契約について

平成 21 年 4 月 1 日から 11 月 10 日までの 50 万円以上の指名競争入札による 76 工事の契約状況は次のとおりとなっている。

区 分	件 数	予 定 価 格	落 札 価 格	落 札 率
町内業者のみの指名による入札	66	1 件当平均 10,895,609	1 件当平均 10,483,379	96.2
町外（県外含）業者を入れた指名による入札	10	1 件当平均 10,877,625	1 件当平均 7,577,850	69.7
計	76	10,893,243	※1 10,101,072	※2 92.7

※1 落札価格の総計は、767,681,500 円

※2 落札率の範囲は最高 98.1% 最低 50.5%

- ① 落札率は、町内業者のみの入札の場合 96.2%、それ以外の入札で 69.7%と差が 26.5%と大きい。
- ② 1 工事平均価格は約 1,000 万円であり、落札率 1%の変動で 10 万円の差が生じている。
- ③ 平成 17 年度からの落札率の経過をみると、町内業者のみの入札の場合は、96～97%と高く推移している。

工事現場に遠くて不利と思われる町外又は県外の業者が、低い価格で落札している現状にある。

これらの原因を分析し適正な競争が促進されるよう、入札制度を改善する必要がある。

(2) 補助金について

① 補助金の額の確定について

町単独補助事業で町補助金交付規則第 19 条に基づく額の確定通知がされていない。

補助を受ける団体等では、後日補助金額が変更になった場合でも、交付決定額をもって決算し監査を受け総会で承認を受けている例も見られる。

補助金の返還が生じた場合、町では補助金の支払通知文書で補助金の減額を知らせているが、便宜的なものである。

② 実績報告書のチェックについて

補助事業者等から提出された実績報告書の中で、申請書に記載した金額と全く同一の金額を記入して提出されたもの、補助金の返還があったにもかかわらず、交付決定のあった金額を決算書に記載しているものなど、不備がみられた。

事業内容、金額を十分に精査すること。

③ 検討を要する補助事業

ア 自治会活動費補助金

一部の自治会では、町補助金を自治会の会計に計上しておらず使途不明。従って自治会員も補助金があることを知らない。自治会活動の円滑な活動のための補助金であり、目的外使用の場合は返還も考慮することが必要。

イ 自衛消防設備補助金

自衛消防団員の制服の購入も対象となっている。団員の出動は近隣の火災等緊急の場合に限られ、制服に着替える余裕がない場合が多い。また、サイズも合わなくなるなど着用する機会がほとんどない。補助対象から外するのが適当。

ウ 敬老会補助金

対象者に商品券を配布するだけの自治会がある。敬老の考え方と異なると思われる。

エ 部落解放研究会育成事業費補助金

会員の研修会費と図書購入費に助成されているが、行政（公益）上どのような効果があるか。

オ 学校教育研究協議会活動費補助金

協議会の構成は町職員であり、事業内容は教育委員会の本来の業務と思われる。補助事業としては適当でない。

カ 東伯地区農業士会補助金

会員は 12 名、うち北栄町は 8 名で補助金は会費に充当されている。支出のうち県協議会への負担金が過半を占めている。会の維持のために補助金を出しているとは思われない。

キ 地産地消事業費補助金

二つのグループが学校給食用に地元産みその加工販売を行っており、市販みそとの価格を補助している。

両グループへの補助単価がkg当 50 円の差が生じている。補助単価は統一するのが適当。